



▲現在の桐ヶ谷踏切
跡（東口）

今2

踏切通路ギリギリまで延びた東口側ホームには現在も踏切跡が残る。

▼東口側ホームより



- ### 東中野駅の変遷
- ・1906年6月14日 甲武鉄道・柏木駅開業
 - ・1909年3月27日 桐ヶ谷踏切設置
 - ・1917年1月 東中野駅と改称
 - ・1962年8月 桐ヶ谷踏切の廃止
 - ・1988年12月5日 東中野駅停車中の車両に後発車両が追突する事故が発生
 - ・2015年3月1日 西口ロータリー完成

1962年8月、「開かずの踏切」で有名だった桐ヶ谷踏切が迂回路の開通により廃止された。

桐ヶ谷踏切の廃止



むかし2



むかし3

西に伸びるギンザ通り。建物は変わってしまったが、照明の配置とストとまっすぐに伸びた道、下町ならではの雰囲気は今も変わらない。

今3

JR西口駅前交差点から北



参考文献

- ・「東中野今昔ものがたり」 岸恒夫 著／東中野地域センター／2006／所蔵 全館
- ・「写真でたどる おらが街東中野」 東中野を語ろう会 編／東中野を語ろう会／2011年／所蔵 中央図書館

写真

- 今：2015.5月撮影
むかし：提供 中野区
- ①1954年頃 東中野駅
 - ②1932年頃 桐ヶ谷踏切道
 - ③1962年頃 東中野銀座通り



▶JR西口

今1

◀JR東口

2015年3月1日、JR東中野駅にて西口ロータリー完成式典が開かれ、地域住民によるみこしやダンスパフォーマンスなどが賑やかに催された。100年以上の歴史のある同駅周辺では、桐ヶ谷踏切の廃止や列車追突事故の対応など、紆余曲折を経て現在の姿へと変貌していった。そんな長い歳月を経て完成したこの駅の歴史を振り返りたい。



むかし1

